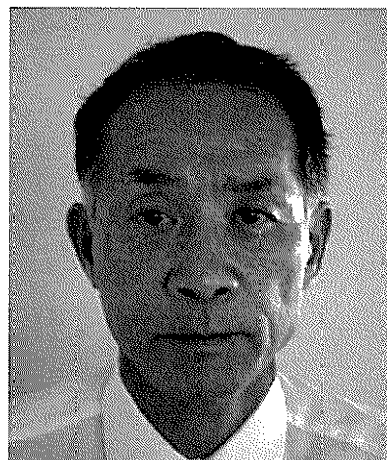


2015 年度「日本木材学会中国・四国支部地域功労賞」

○氏名

野地 清美 (のじ きよみ) 氏



○生年月日

昭和 31 年 5 月 11 日

○最終学歴、最終卒業年

1979 年 3 月 高知大学農学部林学科卒業

2002 年 3 月 愛媛大学大学院連合農学研究科生物資源利用学専攻修了

○所属機関

高知県立森林技術センター

○受賞題目

木材乾燥、建築音響、木材保存等の研究及びその普及

氏は、昭和 54 年に高知県庁に採用されて以来、木材乾燥技術の基礎および応用研究、梁桁乾燥における高温蒸気式乾燥法や断面寸法別の乾燥特性による把握などの研究を通して、品質の安定した大型の梁桁の作成、熱処理技術によるスギ、ヒノキ無垢材の床暖房用の床仕上げ材としての利用に関する研究などにより、高知県産材の実用化、利活用を積極的に推進する研究をリードしてきた。

また、防腐・防蟻処理を必要とせず、比較的安価でノンケミカルな保存処理法として、過熱蒸気による環境に優しく耐久性に優れた木材保存技術に関する研究開発を行い、シロアリに対する防蟻効果を調べながら低価格な処理材の生産について検討している。

さらに、土佐備長炭の製造に関する研究も行い、その製造窯の改良や白炭製造マニュアルの作成などにより、土佐備長炭製造を目指す新規就労者が容易にその技術習得できる作業マニュアルを作成して新規参入を容易にする方策も策定している。

氏はまた、高知県の木造住宅耐震診断士として木材に関する学術の普及および、日本木材学会「木材と水研究会」の幹事として過熱水蒸気乾燥の可能性を探るシンポジウムを高知県で開催するなど地域における学術発展と研究成果の普及に取り組んできた。

以上のように、野地清美氏の高知地域における木材乾燥および木材保存の研究とその普及に対する業績は大きく、地域の学術振興に大きく貢献した。